

平成26年3月8日発行

北門全国にあと一步及ばず。準決勝で敗退する。 第52回北海道中学校サッカー大会

倶知安町で開催されている第52回北海道中学校サッカー大会に出場していた北門中学校と増毛中学校は7月31日に2回戦ほかを行いました。増毛中学校は上ノ国中に5対2で惜しくも敗れましたが、北門中学校道北ブロックカブスリーグU-15兼第20回旭川大雪ライオンズは網走第三中、恵庭恵み野中を連破し準決勝に進みました。8月1日に全国大会出場をかけた準決勝では札幌八軒中と対戦。延長の未敗れ、惜しくも全国大会出場はなりませんでしたが、第3位という好成績をあげました。

2回戦 7月31日 (火) 倶知安コロポックルサッカー場

上ノ国中 (檜山) 5-2 (3-0) 増毛中 (留萌)

得点者 佐藤悠 (43分), 藤原 (44分) (増)

増毛 GK工藤 DF齊藤, 木根田, 佐藤圭, 大嶋 MF林, 佐藤悠, 杉山佳, 原田
FW奈良, 藤原

序盤全道大会の硬さが見られる増毛は10分, 13分と連続失点し, 出足をくじかれる。ボールポゼッションでは上回るものの, 上ノ国FWのスピードに対応しきれずカウンターから20分にも失点し3点のビハインドを負う。それでも, MF佐藤悠を基点に左右にボールを配給し, 両SB齊藤, 大嶋を使って攻撃に厚みを加えサイド深くまで攻め込むもののラストパスに精度を欠き, 崩しきれない。29分にはMF杉山佳が好シュートを放つも相手GKに阻まれる。



後半に入り増毛はさらにチャンスを多く作り出す。36分には佐藤圭のパスから藤原が抜け出しGKもかわすが惜しくもゴールキックとなる。38分には藤原のシュートがポストに当たるなど完全に増毛ペースとなる。39分にも佐藤悠のラストパスから藤原がチャンスを得る。そして, 43分藤原のクロス相手DFがハンドを犯しPKを得る。これを佐藤悠がきっちり決めて1点を返すと, 1分後奈良の縦パスを受けた藤原が振り向きざまに強烈なミドルシュートをたたき込み1点差に追いつく。さらにたたみかけるように決定機を得るが決めきれない。同点に追いつけない増毛に対して, 上ノ国にカウンターから53分に追加点を許す。さらに56分にはCKから加点され, 2対5で善戦及ばず敗れた。

旭川北門中 (上川) 4-0 (2-0) 網走第三中 (オホーツク)

得点者 得点者 得永 (15分, 25分), 高柳 (35分), 能代 (42分) (北)

北門 GK中村昂 DF森, 中村宏, 大西, 能代 MF畑, 瀧川, 高柳, 伊藤, 田中
FW得永 交代/F P鈴木恭, 荒瀬, 鈴木颯, 釜土

北門は序盤からボール支配率を高め押し気味に試合を進める。8分には得永のFKを伊藤が頭で合わせこぼれたところを中村弘がつめるが相手DFにクリアされる。伊藤が中盤でキープ力を生かし, 田中, 瀧川と左サイドを基盤にゲームを組み立て, 得永が虎視眈々とDFラインの裏をダイアゴナルにすり抜けようと狙う。また左SBの能代も積極的に攻撃参加しクロスボールを供給する。15分北門は田中が左サイドから斜めに入れたボールに得永がきれいに合わせて先制する。さらに北門は右サイドからも高柳がスピードに乗ったドリブルで切り崩しにかかる。守備は中村宏



を中心にコンパクトな陣形で網走第三の自由を奪う。25分伊藤が中盤でボールをキープし田中を経由すると能代がオーバーラップし, クロスボールを得永にドンピシャと合わせる。得永はたたきつけるヘッドで追加点を奪う。後半に入っても北門のリズムは続き, 35分得永のカーブをかけた左CKを高柳がインサイドで合わせて3点目を奪うと, 42分には中盤でボールを受けた伊藤が左サイドのスペースに35mのミドルパスをグラウンダーで送ると, 後方から走り込んだ能代がインサイドでGKの鼻先を流し込んで駄目を押す4点目をあげた。

準々決勝 7月3日 (火) 倶知安コロポックルサッカー場

旭川北門中 (上川) 4-0 (2-0) 恵庭恵み野中 (石狩)

得点者 得点者 伊藤 (5分, 6分, 43分) (北)

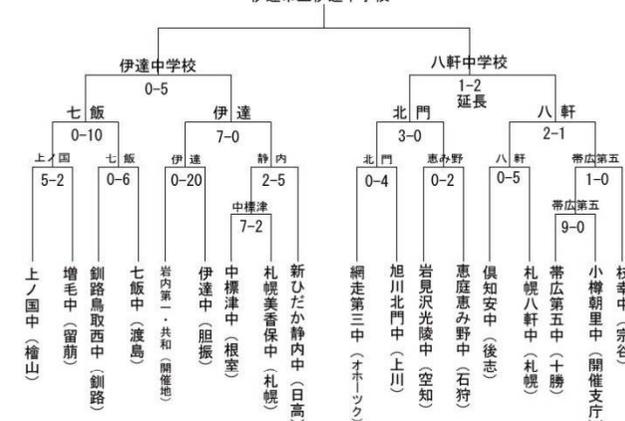
北門 GK中村昂 DF森, 中村宏, 大西, 能代 MF畑, 瀧川, 高柳, 伊藤, 田中
FW得永 交代/GK石崎 FP鈴木恭, 石澤, 荒瀬

序盤北門はディフェンスラインでビルドアップしながら攻撃の糸口を探るが, 恵庭恵み野はスライドしながらボールサイドに人数を集めプレスをかける。北門の攻撃もスピードアップせず, 逆にボールロストしそうな場面もあり, リズムにのれない。なかなか攻め手のない北門だが, 5分中村宏の1本のロングフィードを皮切りに, 中盤で田中が伊藤に短い縦パスを送ると, 伊藤が25mの距離を思い切りよくロングシュート。これが強烈な弾道となってゴールバーに当たって右上にたたき込まれ先制する。さらに1分後田中の縦パスを受けた得永が左サイドで切り返して右足でクロスボールを送ると走り込んだ伊藤がワンタッチで相手GKをかわして追加点を奪う。その後も田中, 能代の左サイドが機能して再三崩し, 瀧川が好シュートを放つなどチャンスを得る。しかし, 北門の攻撃をひとしきりしのぐと恵み野が反撃に転じる。中盤から前線にかけて人数をかけ, 北門の守備陣を苦しめ始める。しかし北門も中村宏, 大西のCBを中心になんとか相手の攻撃をしのぐ。北門も17分には後方からのロングフィードから得永が単独で抜け出すなどチャンスをつかむが追加点には至らない。逆に恵み野のオフサイドラインぎりぎり飛び出されるなど, GK中村昂を脅かされるがシュートミスに救われる。次第に試合は両チームの攻め合いの様相をなす。やや北門は運動量が低下しますが, 伊藤の効果的なサイドチェンジでボールサイドに人数を集める恵み野の寄せを回避し, 再びリズムをつかみ出す。



後半は北門の運動量が落ち, 前線と守備ラインが間延びし, なかなか攻めきれない時間が続く。恵み野の厚みのある攻撃に苦戦し出す。北門は前線をサポートする人数も限られるようになり, 攻撃の厚みを作れず単発に終わる。しかし43分北門は伊藤が中盤でボールを拾うと単独ドリブルを開始, 相手DFを次々とかわしピッチを斜めに横断するように進出すると, 相手DFを抜ききらないうちに相手GKの位置をよく見て, インサイドでグラウンダーのシュート。タイミングをはずしたシュートはゴールに流し込まれ貴重な3点目を奪った。この得点で試合の大勢は決まり, 終わってみれば北門が3対0の快勝。17年ぶりに準決勝に進出し, 明日札幌八軒中と36年ぶり5度目の全国大会出場をかけた対戦することになった。

伊達市立伊達中学校





平成26年3月8日発行

首位攻防戦、広陵が北門を破り逆転首位に！

第5回道北ブロックカブスリーグU-15 兼 第20回旭川大雪ライオンズクラブ旗争奪ジュニアユース選手権

第5回道北ブロックカブスリーグU-15兼第20回旭川大雪ライオンズクラブ旗争奪ジュニアユース選手権は、8月11日に忠和公園で第10節が行われました。首位攻防戦となった広陵と北門は藤原の4得点の活躍などで広陵が快勝。前節立った暫定首位を守ると同時に勝ち点差4をつけて、実質的な首位となりました。

第10節 8月11日(日) 忠和公園

広陵 6-2 (4-1) 北門

得点者 小原 (1分, 67分), 藤原 (6分, 21分, 33分, 42分) (広)

伊藤和 (15分), 森 (43分) (北)

広陵 GK 越田 DF 坂牛, 石橋 (星), 藤田, 山中 MF 甲斐, 西池 (森本)

FW 藤原, 小原, 熊谷 (井上), 小林

北門 GK 中村昂 (石崎) DF 森, 中村宏 (石澤), 大西, 能代 MF 瀧川, 田中,

伊藤和, 高柳 (鈴木恭), 畑 FW 得永

広陵は開始1分小林のポストプレーから小原のミドルシュートが決まり先制する。さらに6分には左サイドを深くえぐった熊谷が折り返すと藤原がファーサイドでゲットして2点目をあげる。北門も15分伊藤和が得永とのワンツーから1点差に追いつく得点を決めるが、ここから広陵の攻撃陣が爆発する。21分には藤原が右サイド3人をごぼう抜きして3点目をあげると、33分は西池にスループスから藤原がハットトリックを完成させる得点を決め前半で4対1のリードを奪う。後半中村宏を前線にあげて反撃を狙うが、43分の森による得点を返すのが精一杯。逆に広陵藤原に4得点目を許したほか、67分には小原がだめ押しの得点。首位攻防戦は藤原の大活躍により広陵が勝ち、北門との勝ち点差を広げ首位を守った。



啓北 5-2 (4-0) 永山

得点者 秋葉一 (12分), 工藤秀 (13分, 19分), 大友 (31分), 横山 (61分) (啓) 増子 (52分), 板橋 (68分) (永)

啓北 GK 見角 DF 中里, 池田, 林, 高橋 MF 工藤秀 (深見), 鈴木,

秋葉一 (工藤優), 横山, 若田直 FW 大友 (二ノ宮)

永山 GK 大沼 DF 工藤 (木村), 山崎, 鈴木佑, 増子 MF 森, 北川 (堂谷), 幸田, 鈴木祥, 板橋 FW 佐々木 (布施)

12分啓北は左サイドでスローインを受けた秋葉一が中へカットインしながら右足でミドルシュートを決め先制する。この1点でリズムをつかんだ啓北は続く13分にバイタルエリアでボールを受けた大友がスループスを送ると、抜け出した工藤秀が2点目を奪う。攻撃の手を緩めない啓北は19分大友, 秋葉一とつないで工藤秀が3対0とする得点を決める。さらに31分には中央でボールを受けた大友がGKの頭上を越すスループシュートを決め前半で4対0とする。後半反撃に転じる永山は幸田を中心に右サイドの森から啓北守備陣を崩し、52分には増子が1点を返す得点をあげるが、61分啓北は二ノ宮からの横パスを受けた横山がゴールラッシュをしめくくる5点目をあげた。

忠和 3-1 (2-0) 緑が丘

得点者 山本 (1分), 芳野 (13分), 漆畑 (39分) (忠) 長谷川 (57分) (緑)

警告 漆畑, 松尾 (忠) 仁木, 三好 (緑)

忠和 GK 岡本 DF 渋谷, 設楽 (田中), 山田 (武内), 岩崎 MF 山本, 安口, 漆畑, 芳野 FW 鈴木 (松尾), 芝崎

緑が丘 GK 青山 DF 長谷川, 仁木, 上田, 平泉 (中島) MF 堀, 深野, 齋藤,

伊藤 (西川) FW 三好, 笠井

開始37秒忠和は山本がミドルシュートを決め先制する。その後も芝崎のポストプレーから、山本がスループスを送り、芳野が左サイドをドリブルで突破して緑が丘守備陣を崩す。13分には山本のスループスに芳野が飛び出し、GKの鼻先でふわりと浮かせる技ありのゴールで2点目を決める。さらに、39分には芳野が左サイドを突破しセンターリング。芝崎がスルーしたところを漆畑が強烈なシュートをたたきこみ3点目を奪う。緑が丘は三好, 笠井がスピードを生かした攻撃を見せるが、忠和GK岡本の好守もあり、得点を奪えない。ようやく57分笠井のCKに長谷川が高い打点のヘッドで1点を返すが反撃もここまで。忠和が3対1で緑が丘に快勝した。



稚内南 2-1 (2-1) コンサ旭川

得点者 櫻井 (7分), 吉田 (14分) (稚) 阿部 (34分) (コ)

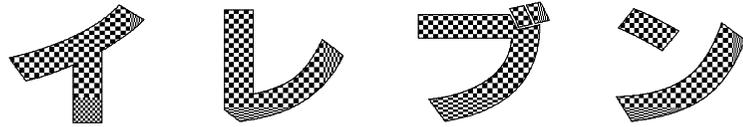
稚内南 GK 李 DF 清水, 阿部, 鈴木, 大江 MF 大沼, 久末, 成田, 吉田

FW 川崎 (日詰), 櫻井

コンサ GK 福澤 (鴨川) DF 枝園, 田淵, 谷口楓 MF 谷口将 (長田), 橋本

渡辺友 (板谷直), 荒川 (谷口明), 板谷智 (鈴木) FW 阿部, 田中 (外館)

7分稚内南は大沼のパスから櫻井がGKの頭越しにシュートを決めて先制する。押し気味に試合を進める稚内南はCKを皮切りにチャンスをつかみ、久末のパスを吉田がヘッドで決めて2点目をあげる。一方コンサもなかなかボールが足元に収まらない中、34分に荒川のパスから谷口将がシュートし、バーに当たったところを阿部が押し込んで1点差とする。後半はコンサが短いパスをつなぎながらチャンスをつかむが同点に追いつくことはできず、稚内南がコンサを振り切った。



平成26年3月8日発行

広陵がコンサに快勝し盤石の首位固め。

第5回道北ブロックカブスリーグU-15 兼
第20回旭川大雪ライオンズクラブ旗争奪ジュニアユース選手権

第5回道北ブロックカブスリーグU-15兼第20回旭川大雪ライオンズクラブ旗争奪ジュニアユース選手権は、8月12日、17日に第11節が忠和公園などで行われました。首位を走る広陵は、17日にコンサ旭川と対戦、小林のハットトリックで3対1で勝ち首位固めをしました。

第11節-1 8月12日 忠和公園

忠和 3-0 (1-0) 啓北
得点者 山本 (6分, 63分), 芳野 (36分) (忠)

退場 芳野 [警告2枚] (忠)

警告 工藤秀 (啓)

忠和 GK岡本 DF渋谷, 設楽, 山田, 岩崎 MF山本, 安口 (武内), 漆畑, 芳野
FW田中 (鈴木), 芝崎

啓北 GK見角 DF中里, 池田, 林, 高橋 MF工藤秀, 鈴木, 秋葉一, 横山, 若田直
FW大友

忠和は、山本を中心にゲームメイク。6分にはCKからのゴール前の混戦。山本がペナルティエリア内で4人に囲まれながらも、技ありのシュートを決める。36分には、左サイドバックの山田がオーバーラップ。フェイントで相手をかまし、ニアサイドへグラウンダーのパス。芳野がタイミングよく走り込み、ゴール左に流し込んで追加点あげる。

後半1点を取り返そうと啓北は、秋葉、鈴木が中盤で献身的に動き、トップの友友、右サイドの工藤にボールを配給しながら忠和ゴールを脅かす啓北は左サイドからアーリークロス。大友がスルー。キーパーが引き出され、がら空きのゴールにシュートするなどチャンスをつかむが、忠和は山田がゴールカバーし得点を許さない。その後忠和は後半残り20分退場者が出る。啓北は池田をを前線に上げ、人数をかけて得点を狙うが、忠和が8人でブロックを形成し、侵入を許さない。逆にボールを奪われた後に芝崎、山本を中心にカウンターを狙う展開。63分には山本が中盤でインターセプト。漆畑とのワンツーで抜け出し貴重な3点目をあげ、3対0の快勝。忠和が6位に浮上した。

名寄健康の森

北門 3-0 (1-0) 稚内南

得点者 能代 (34分), 得永 (51分), 伊藤和 (58分) (北)

北門 GK中村昂 DF森, 中村宏, 大西, 能代 (鈴木颯) MF瀧川, 田中, 伊藤和,
高柳 (石澤), 畑 FW得永

稚内南 GK李 DF清水, 阿部, 鈴木, 大江 (辻口) MF大沼, 久末, 成田, 吉田
FW川崎 (日詰), 櫻井

前半は一進一退の攻防となる。北門は得永、稚内南は大沼を起点に攻撃をしかけるが、得点には至らない。しかし、34分北門は瀧川のパスから能代が先制点を決める。後半に入ると北門のペースになる。途中から激しい雨の中、伊藤和がボールをさばき、組み立てる。51分混戦のこぼれ球を得永が蹴り込んで北門が追加点をあげると、58分には相手ゴールキックを奪ってドリブルからだめ押しの3点目をあげた。

第11節-2 8月17日 (土) 忠和公園

永山 6-2 (6-0) 緑が丘

得点者 板橋 (11分), 佐々木 (13分, 24分), 北川 (16分), 幸田 (22分, 33分) (永)

得点者 板橋 (11分), 鏡 (59分) (緑)

警告 佐々木 (永)

永山 GK大沼 DF堂谷 (上野), 山崎 (布施), 鈴木佑, 増子 MF森 (谷島),
北川, 幸田, 鈴木祥, 板橋 FW佐々木 (木村)

緑が丘 GK青山 DF長谷川, 仁木 (伊藤), 上田, 平泉 (中島) MF堀,
深野 (大懸), 鏡, 笠井 (大村) FW三好, 今多 (鶴羽)



緑が丘はFW三好、永山はFW板橋に速い縦パスを配球し、互いの裏を狙う展開。中盤の主導権争いが続く中、徐々に永山が横にボールを動かしチャンスが増える。11分左サイドを突破した幸田が柔らかいクロスを送ると、フリーの板橋が頭で合わせて先制点を奪う。続く13分には板橋のスルーパスを佐々木が縦に抜け出して中に切り返し、強烈に2点目のゴールを決める。さらに16分には佐々木のクロスボールが裏へ抜け出したところを北川がGKの頭上を破って3対0とする。勢いに乗る永山は22分には幸田が相手ボールをかつさらって4点目、24分には山崎のスルーパスから佐々木がGKもかわして5点目を奪う。33分には幸田が右サイドハーフウェー付近でドリブルを開始すると、そのままDFを次々と抜き去って6対0とする得点を決める。緑が丘も後半立ち上がり笠井がパスミスで奪って1点を返すと、59分には三好のパスを鏡が丁寧にゴールに流し込むが反撃もここまで。3位、4位の直接対決は永山が思わぬ大差で快勝した。

広陵 3-1 (0-0) コンサ旭川

得点者 小林 (35分, 39分, 58分) (広) 板谷直 (47分) (コ)

広陵 GK越田 DF坂牛, 石橋 (星), 木村, 山中 MF甲斐, 西池

FW藤原 (井上), 小原, 熊谷 (森本), 小林

コンサ GK福澤 DF枝園 (上杉), 谷口将, 谷口楓, 板谷智 (鈴木) MF田淵,

渡辺友 (板谷直), 田中 (長田), 橋本 FW阿部, 荒川 (谷口明)

序盤広陵は高いボール支配率から、小林、小原がボールにからみ、小原が数度決定的チャンスをつかむ。さらに、藤原、熊谷の両サイドを使ってワイドに攻撃をしかけるが、コンサは枝園が守備ラインを統率し、GK福澤の好守もあり得点を許さない。前半の終盤には西池にボールが集まり始め、チャンスをつかむが、数多くのチャンスも不発に終わる。コンサも阿部を中心にカウンターから攻撃をしかけるが、広陵は坂牛を中心にコンサにシュートを許さない。後半に入り18秒、広陵は小原のスルーパスに小林が抜け出して待望の先制点を決める。さらに39分には熊谷のクロスを小原が丁寧に落とすとフリーの小林が蹴り込んで追加点。コンサも47分田淵の左からのFKに、裏から入り込んだ板谷直がヘッドで合わせて1点を返す。しかし、甲斐、西池が高い位置でボールをさばき、ポゼッション率を高めた広陵は、58分西池のスルーパスから抜け出した小林がGKまでかわして勝負を決定づけるゴールを決めてハットトリックを完成させた。



平成26年3月8日発行

広陵、永山に大勝し初優勝に王手！

第5回道北ブロックカブスリーグU-15 兼
第20回旭川大雪ライオンズクラブ旗争奪ジュニアユース選手権

第5回道北ブロックカブスリーグU-15兼第20回旭川大雪ライオンズクラブ旗争奪ジュニアユース選手権は、8月18日第12節が忠和公園などで行われました。首位を走る広陵は、3位を狙う永山に7対0という大差で勝利。初優勝に王手をかけました。

第12節 8月18日(日) 忠和公園

コンサ 5-2 (2-2) 緑が丘

得点者 阿部 (23分, 41分, 54分), 板谷直 (27分), 田淵 (69分) (コ)
長谷川 (6分), 笠井 (20分) (緑)

コンサ GK 鴨川 (福澤) DF 枝園, 谷口将 (板谷智), 谷口楓, 鈴木 (上杉)
MF 長田 (田中), 田淵, 板谷直 (外館), 橋本 (渡辺友)
FW 阿部, 谷口明 (荒川)

緑が丘 GK 青山 DF 長谷川, 仁木 (鶴羽, 大村), 平泉 (西川), 中島
MF 堀 (深野), 大懸, 鏡, 笠井, 伊藤 FW 三好



立ち上がり緑が丘は長谷川のロングフィードから笠井を起点とした攻撃で優位に立ち、6分右CKから長谷川のヘッドで先制する。20分には長谷川の縦パスに反応した笠井がGKとの1対1を冷静に流し込む。コンサは右サイド長田を軸に攻撃をしかけるが実を結ばない。しかし、23分橋本のスルーパスを阿部が抜け出して1点を返すと流れが一変する。27分には板谷直のクロスが直接ゴールインし同点に追いつく。後半に入り、41分には田淵のクロスを阿部がDFをかわして逆転ゴールをあげると、54分には橋本のパスから阿部が決めてハットトリックを完成。追加タイムには田淵がFKを直接決めて5対2で快勝した。

広陵 7-0 (3-0) 永山

得点者 藤原 (10分, 24分), 熊谷 (44分, 56分), 小林 (17分, 59分), 0・G (54分) (広)

広陵 GK 越田 DF 坂牛, 星 (山本), 藤田, 山中 MF 甲斐 (大曾根), 西池
FW 藤原 (森本), 小原, 熊谷 (井上), 小林

永山 GK 大沼 DF 堂谷, 山崎, 鈴木佑, 増子 MF 森 (布施), 北川 (木村), 幸田,
鈴木祥 FW 佐々木, 板橋

互いにDFラインを高く保ちコンパクトな中、永山は増子のロングフィードからチャンスを探る。10分広陵は左コーナー付近のスローインから逆サイドの藤原にボールが渡ると、倒れ込みながらシュートを決め先制する。さらに17分には藤原のパスを小原がシュート。



右ポストにあたったところを小林がゲットして2点目をあげる。24分には小原からのスルーパスに中央に入り込んだ藤原が3点目を決める。前半で3点のアドバンテージを得た広陵は後半も攻撃の手を緩めない。44分には小原とのワンツーから熊谷が抜け出し4点目。54分0・Gで追加点をあげると、56分には小原からのパスを熊谷が6点目。締めくくりは西池のパスを小林が豪快に蹴り込んで7点目をあげた。前線で板橋が走り回って何とかチャンスをつかもうとする永山だが、坂牛を中心とした守備に分断され、ノーゴール。広陵が圧勝し、優勝に向け一歩前進した。

北門 2-1 (2-1) 忠和

得点者 伊藤和 (3分), 能代 (23分) (北) 山本 (32分) (忠)

退場 伊藤和 (北)

警告 漆畑 (忠)

北門 GK 中村昂 (石崎) DF 森, 中村宏, 大西, 鈴木恭 (石澤) MF 瀧川, 田中,
伊藤和, 畑, 能代 FW 得永 (高柳)

忠和 GK 岡本 DF 渋谷, 設楽, 山田, 岩崎 MF 山本, 安口, 漆畑, 武内 (鈴木)
FW 田中 (鈴木), 芝崎

北門は伊藤和が起点となり左右にボールを散らしながら攻撃を重ねる。3分には右から中央へ移動しながら伊藤和が左足でミドルシュートを放つとディフレクトしたボールはゴール左に吸い込まれ北門が先制する。その後も畑が中盤の底でボールを拾い、能代の左サイドを中心に攻める北門は、23分伊藤和のシュートがゴールポストに当たった跳ね返りを能代が蹴り込んで2対0とする。しかし、忠和は山本, 芝崎を中心に反撃。32分には山本がPKを決めて1点差とする。後半に入り、北門に退場者が出た後は、一進一退の攻防。忠和は安口が中盤でボールをよくつなぎ、山本のパスワークから漆畑, 芝崎が飛び出しチャンスをつかむ。一人少ない北門はDFラインで中村宏が獅子奮迅の活躍。忠和の攻撃を的確な読みで寸断する。また、右サイドの森からロングフィードでチャンスをつかむ。中盤では瀧川がボールを拾って、一人少ない状況を感じさせないプレーをする。試合はこのままタイムアップ。一人少ない状況ながら北門が粘り強く戦い、2対1で辛勝した。

稚内若葉台

啓北 3-0 (1-0) 稚内南

得点者 工藤秀 (20分), 中里 (60分), 大友 (68分) (啓)

警告 中里 (啓)

啓北 GK 見角 DF 中里, 池田, 林, 高橋 MF 工藤秀 (大友), 鈴木, 秋葉一, 深見,
若田直 (倉兼) FW 横山 (工藤優)

稚内南 GK 李 DF 清水, 阿部 (相原), 鈴木, 大江 MF 大沼, 久末, 成田,
吉田 (北川) FW 川崎 (日詰), 櫻井

強い横風のため両チームともになかなかボールが収まらない。そんな中、20分中盤でボールを奪った工藤秀が抜け出して啓北が先制点を奪う。啓北はその後もチャンスを作るが決めきれずに前半は終了する。後半に入り稚内南もボールを大事にプレーし、膠着状態となるが、60分右CKを中里が見事なハーフボレーで決めて追加点をあげる。さらに68分には大友が巧みなシュートで3点目を決め、啓北が3対0で快勝した。



平成26年3月8日発行

広陵啓北に快勝。1試合を残し初優勝！

第5回道北ブロックカブスリーグU-15 兼 第20回旭川大雪ライオンズクラブ旗争奪ジュニアユース選手権

第5回道北ブロックカブスリーグU-15兼第20回旭川大雪ライオンズクラブ旗争奪ジュニアユース選手権は、8月24日第13節が忠和公園などで行われました。優勝に王手をかけた広陵は、啓北と対戦。熊谷の2得点など5点を奪って啓北に5対0で快勝。1試合を残し、初優勝とともに、高円宮杯北海道ユースに5年ぶりの出場を決めました。

第13節-1 8月24日(土) 忠和公園

広陵 5-0 (2-0) 啓北

得点者 熊谷 (19分, 37分), 小原 (27分), 井上 (60分), 西池 (69分) (広)

広陵 GK 越田 DF 石橋, 木村, 藤田, 山中 MF 甲斐, 西池 FW 藤原 (井上), 小原, 熊谷, 小林

啓北 GK 見角 DF 中里, 池田, 林, 高橋 MF 工藤秀, 秋葉一, 深見, 若田直, 倉兼 FW 横山 (大友)

啓北は広陵守備陣の裏のスペースをねらってロングボールを送り、横山を走らせる。一方広陵は、中盤でのパス交換からシュートチャンスをうかがう。19分広陵は左サイドでパスを受けた小原が右サイドの藤原へパスを送る。藤原はシュートをねらったところ、啓北DFに当たったボールがゴール前の熊谷に渡り、落ち着いてシュートを決め先制する。27分左サイドで熊谷がボールをキープし中央の小林へパス。小林はゴール前に走り込む小原へ正確なパスを通す。これを受けた小原が2点目を決める。後半啓北は秋葉一、横山が中央から攻撃をしかけるが、広陵DF陣に阻まれる。広陵は37分に熊谷が3点目を決めると、60分井上、69分西池と加点して5対0で快勝。第2試合で北門が引き分けたために、ブロックカブス初優勝を決めた。

北門 2-2 (2-0) 緑が丘

得点者 中村宏 (3分, 29分) (北) 三好 (51分), 笠井 (68分) (緑)

警告 長谷川 (緑)

北門 GK 中村昂 DF 森, 中村宏 (荒瀬), 大西, 鈴木恭 MF 瀧川, 田中, 高柳, 畑 (得永), 能代 FW 石澤

緑が丘 GK 青山 DF 長谷川, 仁木, 鏡, 平泉 MF 深野, 大懸, 斎藤, 笠井, 伊藤 (中島) FW 三好

序盤は両チームともDFラインから長いボールを入れて展開する。伊藤和、得永の中心選手を欠く北門は中村宏がチームを引っ張り、3分には能代のCKを頭で合わせて先制する。29分にも能代のCKから再びヘッドで決めて2対0とする。緑が丘は笠井を起点に北門ゴールに迫るがフィニッシュには至らない。後半も北門が押し気味に試合を進め、何度か決定機を迎えるが決めきれない。逆に緑が丘は51分中盤のこぼれ球を笠井が拾いスルーパス、三好が決めて1点を返す。その後も緑が丘がボールをよく拾い攻撃をしかける。68分緑が丘は縦パスに抜け出した笠井が同点ゴールを決めドローに持ち込んだ。

稚内若葉台

永山 3-1 (0-0) 稚内南

得点者 鈴木佑 (43分), 佐々木 (48分), 幸田 (66分) (永) 櫻井 (50分) (稚)

永山 GK 大沼 DF 堂谷, 山崎, 鈴木佑, 増子 MF 森, 北川, 幸田, 鈴木祥 FW 佐々木, 板橋

稚内南 GK 李 DF 清水, 鈴木, 辻口, 大江 MF 大沼, 北 (北川), 成田, 吉田 FW 川崎, 櫻井

序盤は永山のペースで佐々木のポストプレーから幸田、板橋、北川がからみ稚内南ゴールに迫るが、稚内南の大沼が中盤の守備をがんばり前半は0対0で終える。後半永山は横幅を使った攻撃をしかける。43分ペナルティエリア外のFKを幸田がクイックスタート。受けた堂谷がクロスを入れると、こぼれ球を鈴木佑が蹴り込んで先制する。さらに48分には堂谷からのミドルフィードを受けた幸田が右サイドを抜け出し、中央へ折り返すと佐々木が

落ち着いて決めて追加点をあげる。稚内南は50分、一瞬の隙をついてFKを受けた櫻井がGKと競り合いながら決め1点差に追いつく。しかし、永山は66分左サイドでボールを受けた幸田が内側にカットインしながらスワープをかけたシュートを放つとゴール右上に吸い込まれ貴重な3点目をあげた。稚内南も櫻井、大沼を中心に反撃したが及ばず。永山が3対1で稚内南を下し、3位に浮上した。

第13節-2 8月25日(日) 忠和公園

忠和 5-0 (1-0) コンサ旭川

得点者 芳野 (12分, 45分), 山本 (59分, 62分), 漆畑 (66分) (忠)

忠和 GK 岡本 (石川) DF 渋谷, 設楽, 山田 (武内), 岩崎 MF 山本,

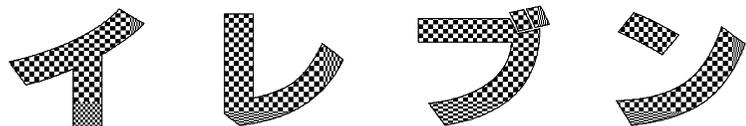
安口 (鈴木), 漆畑, 芳野 FW 田中, 芝崎

コンサ GK 福澤 DF 枝園, 谷口将, 板谷智 (森川), 上杉 MF 長田 (石澤), 田中, 田淵, 橋本, 渡辺友 (村岡) FW 荒川

忠和は、山本を起点に左サイドの芳野を使って攻撃をしかける。対するコンサは中盤で短いパスをつなぎながら前線へのスルーパスをうかがう。忠和は12分左から右へ大きな展開。漆畑のセンタリングを芳野が落ち着いて決めて先制する。その後は両チームとも決定的なチャンスをつくることができず、1対0で前半を折り返す。後半は忠和が押し気味に試合を進め、45分バイタルエリアでのこぼれ球を芳野が思い切りよくシュートし2点目をあげる。59分には右サイド漆畑から芝崎へ丁寧なパスが出て芝崎がセンタリング。山本がニアサイドに走り込み鮮やかに頭で合わせる。続く62分には左サイドからの漆畑のセンタリングに再び山本が頭で合わせて4点目を奪う。66分には漆畑がループシュートを決めトドメを刺した。

北海道ユース (U-14) 8人制道北ブロック大会結果

8月5日(月)									
Aピッチ			Bピッチ			Cピッチ			
士別A	vs	神居東	美深	vs	愛宕U14	士別B	vs	北星A	
2	-	4	6	-	1	2	-	8	
得点者	(土)由井(2)	(神居東)森田(2)、吉澤、鈴木	(美)瀬川(3)、伊東、丸山(2)	(愛U14)滝ヶ平	(土)泉田、柴崎	(北A)佐藤(2)、船越(3)、小野(2)、清野			
結果	東光A	vs	潮見が丘	光陽	vs	北星一軍	神居A	vs	愛宕U13
0	-	3	5	-	2	2	-	8	
得点者	(東)	(潮見)藤原(3)	(光)原田(4)、島山	(北)金尾、西田	(神)工藤、鳥飼	(愛)石崎(3)、中田(2)、池田(3)			
結果	名寄	vs	神居S	拓心	vs	美深	東光B	vs	北星A
3	-	2	4	-	2	0	-	8	
得点者	(名)山口、有澤、佐藤	(神居)山下、林	(拓)笠原(3)、山岸	(美)丸山、結城	(東)	(北)佐藤、清野(3)、船越(3)、本谷			
結果	士別A	vs	東光A	愛宕U14	vs	光陽	士別B	vs	愛宕U13
1	-	1	8	-	1	1	-	9	
得点者	(士)喜多	(東)藤本	(愛)萩原(2)、野坂(2)、室井、沼倉、山村、白石	(光)小林	(士)二宮	(愛)窪田、伊藤、石崎(3)、中田、池田(3)			
結果	名寄	vs	潮見が丘	北星一軍	vs	拓心	東光B	vs	神居A
2	-	0	1	-	4	0	-	1	
得点者	(名)佐藤(2)	(潮見)	(北)金尾	(拓)笠原(2)、山岸、鈴木	(東)	(神)三浦			
結果	神居S	vs	神居東	美深	vs	光陽	北星A	vs	愛宕U13
7	-	1	1	-	4	4	-	1	
得点者	(神居S)松下、小山、新井(2)、藤本、野田、山下	(神居東)松下	(美)伊東	(光)原田(3)、島山	(北A)船越(3)、清野	(愛)石崎			
結果	士別A	vs	潮見が丘	愛宕U14	vs	拓心	士別B	vs	神居A
3	-	4	3	-	5	1	-	8	
得点者	(士)石森、喜多(2)	(潮見)藤田(3)、橋田	(愛)滝ヶ平、野坂、山村	(拓)鈴木(2)、笠原(3)	(士)永峯	(神)鳥飼(2)、稲垣、工藤(3)、三浦、間崎			
結果	神居東	vs	名寄	北星一軍	vs	美深	東光B	vs	愛宕U13
2	-	5	1	-	1	0	-	7	
得点者	(神居東)OG、吉澤	(名)有澤、佐藤(4)	(北)浅川	(美)瀬川	(東)	(愛)中田、窪田、小達(2)、石崎、池田、斉藤			
結果	東光A	vs	神居S	拓心	vs	光陽	北星A	vs	神居A
0	-	5	6	-	0	7	-	3	
得点者	(東)	(神居S)松下(2)、新井(2)、安藤	(拓)笠原(3)、山岸(2)、鈴木	(光)	(北A)佐藤(3)、船越、小野(2)、清野	(神)神田、鳥飼(2)			
結果	名寄	vs	士別A	愛宕U14	vs	北星一軍	士別B	vs	東光B
0	-	0	2	-	3	8	-	1	
得点者	(名)	(士)	(愛)野坂、白石	(北)金尾、神山、大淵	(士)二宮(4)、岡部、佐藤、柴崎、OG	(東)小林			



平成26年3月8日発行

チャレンジリーグへの出場権を駆け開幕！ 平成25年度あさひかわ新聞杯第3回旭川・道北地区カプスリーグU-15(後期)

平成25年度あさひかわ新聞杯第4回旭川・道北地区カプスリーグU-15後期は、8月10日(土)に愛宕中学校などで開幕。道北ブロックカプスへ参入を決める旭川・道北チャレンジリーグへの出場権をかけ、9月末まで行われます。

8月10日(土) 愛宕中学校

- B 愛宕 2-2 (1-1) 東明
室井 (9分), 0・G (44分) (愛) 岩城 (18分, 53分) (東)
B 明星 3-0 (2-0) 北星菅原 (12分), 中島 (14分), 橋本 (56分) (明)
D 北門2nd 3-0 (1-0) 美瑛井上 (29分), 長岡 (35分), 岡 (42分) (北)
神楽中学校
A 神楽 3-0 (2-0) 永山南 斉藤 (8分), 佐々木 (22分), 井上 (41分) (神)
B 上富良野 5-2 (1-0) 美深 遠藤 (10分), 林 (33分), 松田 (42分),
谷 (44分, 57分) (上) 内山 (50分, 55分) (美)
B 中富良野 4-4 (2-1) 鷹栖 安喰 (2分, 43分), 奈良岡 (6分),
岩本 (52分) (中) 照井 (21分, 55分), 松原 (41分), 鈴木 (58分) (鷹)
A 附属 2-1 (0-0) 東光 佐々木 (54分), 木村 (57分) (附)
奈良 (38分) (東)

永山中学校

- C 忠和2nd 3-0 (1-0) J-ELM永山 今野甲 (7分, 48分), 芹川 (55分) (忠)
A 富良野西 4-0 (2-0) 士別FC 前田 (5分), 広瀬 (23分, 52分, 59分) (富)
A 東陽 4-0 (3-0) 当麻FC
佐藤 (16分), 後口 (26分, 29分), 弘田 (57分) (東)

花咲球技場

- C 緑が丘2nd 1-0 (0-0) 東神楽 吉田 (33分) (緑)
B 六合 4-2 (2-1) 光陽 中村孔 (12分, 31分), 浅田 (22分),
荒 (58分) (六) 原田 (26分), 上家 (56分) (光)
C 神居 0-0 (0-0) 啓北2nd
D FC広陵 2-1 (2-1) 名寄SC 松尾 (5分), 平 (7分) (広) 渡邊 (14分) (名)

平成25年度あさひかわ新聞杯第3回旭川・道北地区カプスリーグU-15後期は8月10日(土)に愛宕中学校など4会場で開幕しました。愛宕中学校会場の開幕戦では、室井を中心に攻める愛宕が9分室井の得点で先制します。東明も18分に澤田のポストプレーから岩城が同点シュートを決めますが、愛宕は44分0・Gで再びリードを奪います。しかし、53分東明は澤田のアシストから再び岩城が決めて同点とし、地区カプス前期2位に面目を保ちました。第2試合は佐々木が中盤で攻撃をリードする明星が、菅原の先制点に続き、14分には中島、

56分には橋本が決めて勝利しました。北門は井上、後藤が何度も美瑛守備陣の裏をつきチャンスをつかみます。美瑛GK山本がファインセーブを見せていた美瑛ですが、29分に井上が先制すると、後半には長岡と岡が加点し3対0で勝ちました。神楽会場の第1試合では8分に斉藤が先制点をあげた神楽は、22分には長岡のクロスから佐々木がボレーで合わせて2点目。41分には井上が30mのロングシュートを決めて快勝しました。上富良野は10分に林優が落としたボールを遠藤が持ち込んでシュートを決めると、33分には林優が2点目。その後も着々と加点した上富良野が美瑛の反撃を2点に抑え、5対2で



勝ちました。第3試合は点の取り合いとなりました。西野を基点に攻撃する鷹栖に対し、中富良野は岩本、奈良岡を中心に前線を走らせる攻撃で対抗。両チームとも4点ずつを取り合いドローに終わりました。第4試合では東光奈良が38分にこぼれ球を蹴り込んで先制しますが、附属は54分木村の縦パスから佐々木が同点シュートを決めると、57分には木村がドリブルで独走し決勝点をあげました。永山中学校会場の第1試合では忠和今野甲がスピードを生かして7分に先制点をあげると、48分にも追加点。55分には芹川がだめ押しの3点目を奪い、永山を振り切りました。第2試合では富良野西が前田が5分に先制すると、その後前田の3アシストで広瀬がハットトリックを完成し4対0で士別FCを破りました。東陽対当麻は当麻が全員1年生ながら粘り強い守備と運動量で東陽に対抗。しかし東陽は16分佐藤が先制すると、26分、29分には後口が連続得点し、当麻を振り切りました。花咲球技場の第1試合では33分に渡部の横パスを受けた吉田が決勝点をあげ緑が丘2ndが東神楽に1対0で勝ちました。光陽と六合は、12分中村孔が先制点をあげると、22分には浅田が追加点。光陽も26分に原田が1点を返しますが、31分中村孔が突き放します。その後1点ずつを追加しましたが、六合が4対2で光陽を破りました。神居と啓北2ndは互いに譲らずスコアレスドローに終わりました。FC広陵は5分に松尾の先制点の後、7分には平が2点目を奪い、名寄SCの得点を渡邊の1点に抑え、2対1で開幕戦を勝利で飾りました。



8月11日(日) 東明中学校

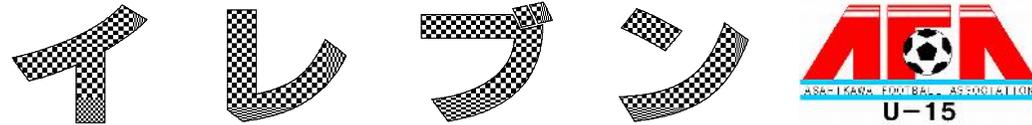
- B 東明 2-0 (0-0) 六合 岩城 (40分, 52分) (東)
D 愛宕2nd 0-0 (0-0) 美瑛
A 神居東 7-0 (2-0) 富良野西 旭 (1分), 國澤 (12分), 森田 (31分),
藤井 (39分), 青山 (43分), 今野 (48分), 長橋 (58分) (神)
A 附属 1-0 (1-0) 当麻FC 山下 (24分) (附)
花咲球技場
A 永山南 4-0 (2-0) 富良野東 藤井 (11分), 谷口 (22分), 吉田 (50分),
鷲見 (53分) (永) [警] 樋口 (永)
B 鷹栖 3-2 (1-1) 美深 山口 (7分, 36分), 西野 (59分) (鷹)
内山 (24分), 0・G (48分) (美)
A 神楽 7-0 (5-0) 東陽 藤本 (7分, 17分), 佐々木 (9分, 28分, 34分),
遠藤 (14分), 坂本 (37分) (神)
B 明星 3-2 (2-1) 中富良野 中島 (7分), 菅原 (16分), 矢口 (39分) (明)
岩本 (21分), 奈良岡 (42分) (中)

留萌中学校

C 留萌 1-0 (1-0) 東神楽 佐賀 (18分) (留)
第2節は8月11日(日)に花咲球技場など3会場で行われました。東明中学校の第1試合では岩城を中心に攻撃する東明が押し気味に試合を進めますが前半は無得点。しかし、後半に入り、40分に右サイドをえぐった岩城が先制点を決めると、52分にはCKから再び岩城が得点し2対0で勝利しました。愛宕2nd対美瑛は両チームともなかなか得点機を作れられずスコアレスドローに終わりました。第3試合は神居東の攻撃力が爆発。1分に旭が先制点を奪うと12分には旭のアシストから國澤が追加点。後半には5点を奪って大勝しました。附属は山下、森を中心に攻撃をしかけ、24分に左サイドのクロスから山下が決勝点をあげ、1対0で当麻を下しました。

花咲球技場の第1試合では永山南が富良野東を圧倒します。須藤とのワンツーから抜け出した藤井が先制点をあげると、22分には鷲見のクロスから谷口が合わせて2点目。50分には吉田翔心、53分には鷲見が加点し4対0で快勝しました。第2試合は西野を中心に攻撃する鷹栖が山口の2得点で2度のリードを奪いますが、その都度美深は同点に追いつく粘りを見せます。しかし、59分鷹栖は西野がドリブルから決勝点をあげ、美深を振り切りました。第3試合は藤本の2得点、佐々木のハットトリックの活躍で神楽が東陽に大勝しました。明星は7分に橋本のスルーパスから中島が先制点。16分にも菅原が追加点をあげます。中富良野も粘り、21分に岩本が決めて1点差に詰め寄りますが、39分明星矢口が貴重な追加点をあげ、中富良野を下しました。

留萌と東神楽は、佐賀、江川が中心となって丁寧にパスを組み立てる留萌が18分佐賀が決勝点をあげ1対0で勝ちました。



平成26年3月8日発行

東明が3連勝で開幕ダッシュ!

平成25年度あさひかわ新聞杯第3回旭川・道北地区カブスリーグU-15(後期)

平成25年度あさひかわ新聞杯第4回旭川・道北地区カブスリーグU-15後期は、8月12日、17日に永山中学校などで第3節、第4節が行われました。優勝候補の神楽は増毛を2対1で破って3連勝を飾り、順調な滑り出しを見せました。

第3節 8月12日(月)永山中学校

B 東明5-0(3-0)明星 太田(8分), 岩城(14分, 46分), 渡辺(15分), 野村(53分)(東)

A 富良野東4-3(1-2)神居東 越前(24分, 52分, 59分), 馬場(48分)(富) 國澤(1分), 福家(15分, 43分)(神)

B 光陽4-0(3-0)美深 原田(1分, 9分, 26分, 40分)(光)

B 六合4-1(1-1)愛宕 中村孔(15分, 36分), 濱嶋(42分, 43分)(六) 室井(22分)(愛)

C 東神楽3-0(0-0)J-ELM永山 三和(31分), 阪谷(42分), 江良(59分)(東)

第3節は永山中学校を会場に5試合が行われました。第1試合は東明と明星が対戦。岩城を中心に攻撃する東明は、右サイドの太田が何度もオーバーラップし、攻撃を活性化させます。8分その太田が先制点を奪うと、15分には渡辺が追加点。その後も3点を追加した東明が明星に快勝しました。第2試合は点の取り合いとなりました。福家の活躍で一時は2点のリードを奪った神居東ですが、富良野東は後半大反撃。越前が3得点1アシストと全得点にからむ活躍をみせ、追加タイムの決勝点で競り勝ちました。原田を中心に攻撃する光陽は、その原田がスピードにのったドリブルから4得点をあげる活躍をみせ美深に快勝。六合は高橋聖、浅田の両サイドから攻撃する六合が、中村孔の2得点で優位に立つと、42分、43分には濱嶋が連続得点し、愛宕を振り切りました。東神楽は、水本、庄野が縦への力強い推進力をみせ後半に爆発。31分に三和、42分に阪谷、追加タイムに江良と得点し、J-ELM永山を3対0で下しました。



第4節 8月17日(土)神楽中学校

神居2-2(1-0)忠和2nd 工藤(1分), 藤本(42分)(神) 大浪(43分), 今野甲(55分)(忠)

東光4-0(2-0)東陽 押切(10分), 町田(24分), 佐藤(40分), 阿部(57分)(東)

永山南13-0(5-0)当麻FC 森永(2分, 6分), 須藤(10分), 吉田(25分, 50分),

塚本(27分), 樋口(40分, 42分), 谷口(47分, 50分), 鈴木(54分, 55分), 有馬(56分)(永) 神楽2-1(1-0)増毛 佐々木(6分), 林(50分)(神) 佐藤圭(58分)(増)

名寄健康の森

士別FC2-1(0-0)神居東 草刈(31分), 大津(41分)(士) 吉澤(45分)(神)

名寄SC20-0(7-0)聖園 佐藤(4分, 27分, 28分, 31分, 45分), 渡辺(5分, 8分, 10分, 33分, 47分, 59分), 木原(25分), 有澤(32分, 44分, 50分, 59分), 田辺(41分, 57分), 半田(41分), 小栗(48分)(名)

花咲球技場

東川2-0(0-0)北門2nd 金山(33分), 十河(46分)(東)

東明5-1(3-1)光陽 岩城(7分, 16分, 22分, 59分), 宿谷(37分)(東) 齊藤(13分)(光)

北星4-0(1-0)鷹栖 高島(4分), 尾崎(51分, 53分), 西田(55分)(北) 第4節は神楽会場など3会場で9試合が行われました。名寄健康の森の第1試合は36分に草刈がドリブルから最後はGKまで抜いて先制すると、41分には大津がセンターサークル付近からロングシュートを決めます。神居東も45分吉澤が1点を返しますが2対1で士別FCが勝ちました。名寄SCは佐藤、渡辺、有澤の3人で15点を奪うゴールラッシュをみせ聖園を圧倒しました。

花咲球技場の第1試合は東川が添田にボールを集め、金山、栗林を走らせるスルーパスで攻勢に出ます。33分金山の得点で先制した東川は46分には十河が加点し北門2ndを下しました。第2試合は東明が7分に岩城のミドルシュートで先制します。光陽も13分齊藤の得点でいったん追いつきますが、東明はここからゴールラッシュ。16分、22分と岩城が連続得点し突き放すと、後半にも宿谷、岩城と加点し5対1で快勝しました。第3試合は北星が16分高島の得点が決まると、終盤尾崎が連続得点し鷹栖を突き放しました。鷹栖も西野を中心に反撃しますが、及びませんでした。

花咲球技場の第1試合は前半神居が攻勢に出ます。1分に工藤が先制点を決めると42分には藤本が追加点。しかし忠和は43分大浪、55分今野甲が決めて追いつきました。第2試合は10分押切の得点で先制した東光が主導権を握り、24分には町田が追加点。後半にも2点を追加した東光が4対0で快勝しました。第3試合は、森永、吉田翔哉など5人が2得点した永山南が13対0で大勝しました。第4試合は6分に佐々木の得点で先制した神楽が50分に林輝が追加点をあげ、増毛の反撃を58分の佐藤圭の1点に抑え、3連勝を飾りました。



平成26年3月8日発行

永南、上富良野などが連勝を飾る！

平成25年度あさひかわ新聞杯第3回旭川・道北地区カブスリーグU-15(後期)

平成25年度あさひかわ新聞杯第4回旭川・道北地区カブスリーグU-15後期は、8月12日、17日に永山中学校などで第3節、第4節が行われました。優勝候補の神楽は増毛を2対1で破って3連勝を飾り、順調な滑り出しを見せました。

8月18日(土) 上富良野富原運動公園

B 上富良野 4-1 (2-0) 中富良野 松田 (5分, 40分), 谷 (29分), 林 (40分)

(上) 小松田 (38分) (中)

A 神楽 10-0 (3-0) 富良野東 佐々木 (2分, 20分, 59分), 井上 (28分), 斉藤 (33分, 37分), 0・G (35分, 43分), 藤本 (38分, 50分) (神)

A 東光 6-2 (3-2) 富良野西 加藤 (3分), 阿部 (12分), 土田 (19分, 41分, 59分), 町田 (51分) (東) 前田 (15分), 尾崎 (29分) (富)

神居東中学校

A 神居東 12-0 (6-0) 当麻FC 吉澤 (1分, 52分), 旭 (9分), 國澤 (17分), 青山 (21分), 佐々木 (28分, 29分, 45分, 48分, 55分), 鈴木 (32分, 58分) (神)

C 忠和 2nd 5-1 (3-0) 緑が丘 2nd 大浪 (14分, 53分), 南向 (19分, 28分, 58分) (忠) 来馬 (59分) (緑) [警] 遠藤, 手嶋 (緑)

C 東神楽 2-0 (2-0) 北都 庄野 (10分, 23分) (東)

B 光陽 2-1 (0-1) 愛宕 坂本 (35分), 星 (55分) (光) 菅野 (24分) (愛) 東明中学校

B 北星 1-1 (1-0) 東明 小野 (29分) (北) 藤田 (59分) (東)

D 名寄SC 3-1 (1-1) 北門 2nd 渡辺 (19分, 31分, 48分) (名) 井上 (8分) (北) [警] 中西 (北)

D 東川 7-0 (0-0) 愛宕 2nd 添田 (40分, 45分, 56分), 栗林 (47分), 高橋 (50分), 石倉 (53分), 遠藤 (59分) (東)

B 鷹栖 1-0 (0-0) 明星 西野 (40分) (鷹)

留萌浜中運動公園

C 神居 2-0 (0-0) 留萌 林 (31分), 藤本 (59分) (神)

A 永山南 7-2 (6-2) 増毛 有馬 (4分, 23分, 31分), 樋口 (6分), 塚本 (19分), 谷口 (21分, 44分) (永) 藤原 (7分, 9分) (増)

第7節は上富良野富原運動公園など4会場で13試合が行われました。上富良野富原運動公園での第1試合では、5分に林優のアシストから松田の得点で先制した上富良野は、29分には谷がドリブルシュートを決めて追加点。中富良野も小松田が1点を返しますが、その後松田と林優が加点して4対1で勝ち開幕連勝としました。第2試合は神楽の攻撃力が爆発。佐々木のハットトリックなどで富良野東に大勝し、4連勝を飾りました。第3試合は3分加藤の得点で先制した東光が、12分には阿部が追加点。15分富良野西前谷1点を返されますが、19分土田が突き放すゴール。その後も土田がハットトリックを完成するなどして、富良野西を6対2で下しました。

神居東会場の第1試合は神居東が佐々木の5得点の活躍などで当麻に大勝しました。忠和2ndは南向のハットトリックなどで緑が丘2ndに快勝。勝ち点を7に伸ばしました。東神楽は庄野の2得点で北都を2対0で破り、2勝2敗の五分に星勘定を戻しました。光陽対愛宕は、愛宕菅野が24分に先制しますが、35分に坂本が同点シュートを決めると、55分には星が勝ち越しシュートを決め、逆転勝ちで光陽が勝ち点3を奪いました。

東明中学校会場の第1試合では北星が清野のパスから小野が決めて29分に先制します。東明は終了間際、山岡のマイナスのパスを藤田が詰めて土壇場で同点ゴール。前期地区カブス2位の面目を何とか保ちました。名寄SCは8分北門2nd井上に先制点を許しますが、その後渡辺のハットトリックで北門に逆転勝ちしました。東川は添田、黒川を中心に攻撃し、前半こそノーゴールに終わりましたが、後半大爆発。添田のハットトリックなどで7対0で大勝しました。鷹栖対明星は40分西野が山口からのパスを受けて決勝点をあげ1対0で勝ちました。

留萌会場の第1試合では、神居が31分林の先制点でリードを奪うと、追加タイムに藤本が

だめ押しのゴールをあげ、留萌を破りました。永山南は4分に有馬、6分に樋口の得点で優位に試合を進めます。しかし、増毛も7分、9分と藤原が決め同点に追いつきます。しかし、永山南はここから5点を奪い、7対2の大勝。3勝目をあげました。

8月24日(土) 忠和中学校

C 忠和2ndvs留萌 雷雨のため延期

A 神楽vs附属 雷雨のため延期

B 春光台vs上富良野 雷雨のため延期

名寄健康の森

B 美深 4-3 (1-1) 明星 瀬川 (18分, 42分, 47分), 0・G (44分) (美) 橋本 (15分), 佐々木 (24分), 中島 (32分) (明)

D 名寄SC 3-0 (1-0) 東川 小栗 (9分), 渡邊 (32分), 武田 (39分) (名)

A 土別FC 2-0 (1-0) 当麻FC 石森 (28分, 41分) (土)

愛宕中学校

C 神居vs東神楽 雷雨のため延期

A 東光vs永山南 雷雨のため延期

A 東陽vs富良野西 雷雨のため延期

B 愛宕vs北星 雷雨のため延期

第8節は忠和中学校、愛宕中学校会場が雷雨のために延期となったため、名寄健康の森で行われた3試合のみが実施されました。第1試合では佐々木を中心にパスワークで組み立てる明星に対し、美深は瀬川を中心に攻撃。その瀬川が18分、42分、47分と得点しハットトリック。明星も橋本の先制点を皮切りに3得点しましたが、及ばず美深が4対3で勝ちました。第2試合は優勢に試合を進める名寄SCが、9分に小栗が先制点をあげます。後半には渡邊と武田が加点し3対0で東川を破りました。第3試合は、サイドを使って攻撃する土別FCが当麻を押し込み、28分には藤原のパスを起点に石森がドリブルシュートを決めて先制します。さらに41分には喜多亮のシュートのこぼれ球を再び石森が蹴り込んで2対0で勝利を取めた。

U13リーグ 7/21

花咲球技場

愛宕 7-1 (4-1) 中富良野 中田 (4分, 8分, 24分), 池田 (19分, 44分, 49分), 小建 (41分) (愛) 小松田 (23分) (中)

U13リーグ 7/21

花咲球技場

東陽 2-1 (1-1) 緑が丘 酒井 (15分), 奥山 (35分) (東) 藤原 (3分) (緑)

U13リーグ 7/21

花咲球技場

北門 1-0 (1-0) 神楽 伊藤 (20分) (北)

U13リーグ 7/27

花咲球技場

中富良野 2-1 (2-0) 女子トレセン 小松田 (14分), 森田 (18分) (中) 岡本美 (30分) (女)

U13リーグ 7/28

永山中学校

緑が丘 1-0 (1-0) 神楽 岡村 (23分) (緑)

U13リーグ 7/28

永山中学校

永山 3-0 (1-0) 中富良野 川勝 (10分), 関口 (26分), 布施 (31分) (永)

U13リーグ

8/10 愛宕中学校

北門 1-0 (0-0) 愛宕 三浦 (北)

U13リーグ 8/10

永山中学校

永山 6-0 (4-0) 東陽 布施 (4分, 11分), 中村 (14分), 川勝 (18分), 光田 (35分), 斉藤 (45分) (永)

U13リーグ 8/11

花咲球技場

中富良野 2-1 (1-1) 東陽 山中 (15分), 植田 (35分) (中) 河野 (5分) (東)

U13リーグ 8/17

花咲球技場

女子トレセン 3-0 (2-0) 北門 由井 (11分, 31分), 高島 (22分) (女)

U13リーグ 8/25

永山中学校

永山 1-0 (1-0) 愛宕 中村 (24分) (永)



平成26年3月8日発行

東明、神楽が勝ち点を伸ばし首位を走る！

平成25年度あさひかわ新聞杯第3回旭川・道北地区カブスリーグU-15(後期)

平成25年度あさひかわ新聞杯第4回旭川・道北地区カブスリーグU-15後期は、8月25日、9月7日に神楽山中学校などで第9節、第10節が行われました。強豪校の東明、神楽はそれぞれ勝ち点を伸ばし首位を走っています。

第9節 8月25日(日) 神楽中学校
C 神居 5-0 (4-0) 緑が丘2nd
野田 (2分), 新井 (3分, 17分), 中原 (4分), 藤本 (59分) (神)
B 春光台 2-0 (0-0) 北星入田 (19分), 川上 (25分) (春)
A 富良野西 1-0 (1-0) 増毛上野 (29分) (富)
A 神楽 10-0 (3-0) 当麻FC 0・G (4分), 藤本 (13分, 34分), 斉藤 (20分), 佐々木 (32分, 43分), 長田 (33分, 38分), 林輝 (42分), 坂上 (54分) (神)

永山中学校
C J-ELM永山 0-0 (0-0) 北都
B 愛宕 2-1 (0-1) 明星
室井 (59分), 滝ヶ平 (59分) (愛) 矢口 (13分) (明)
C 上富良野 7-1 (3-0) 六合林優 (7分, 46分), 遠藤 (14分, 27分), 江嶋 (40分), 谷 (48分), 陣内 (53分) (上) 荒 (38分) (六)
B 啓北2nd 3-0 (2-0) 留萌細川 (13分, 17分, 34分) (啓)

名寄健康の森
A 土別FC 4-2 (2-1) 東陽草刈 (13分), 喜多亮 (21分, 52分), 泉田寛 (52分) (土) 佐藤圭 (24分), 酒井 (54分) (東)
B 東明 6-0 (1-0) 美深太田 (8分), 宿谷 (39分), 渡辺 (40分), 岩城 (47分, 53分, 59分) (東)
D 名寄SC 15-1 (7-0) 美瑛
佐藤 (4分, 29分, 35分, 58分), 小栗 (10分), 渡邊 (12分, 28分, 40分, 50分, 59分), 山口 (19分), 武田 (26分), 木原 (32分), 岩城 (46分), 木村 (59分) (名)
山田 (18分) (美)

第9節は神楽中学校など3会場で10試合が行われました。神楽中学校での第1試合は神居が2分に野田, 3分に新井, 4分中原と開始4分間で3得点を奪ってリズムをつかむと, 17分に新井, 59分に藤本が加点して5対0で緑が丘2ndに快勝しました。初戦となる春光台は, 19分中央でボールを奪った入田が先制点を奪うと, 25分には川上が追加点をあげ, 北星を2対0で下し幸先よいスタートを切りました。富良野西対増毛は増毛が杉山を中心に攻撃を組み立てますが, 富良野西は上野が29分に決勝点をあげ, 1対0で勝利しました。神楽は4分に先制するとその後ゴールラッシュ。10対0での大勝で当麻を破りました。

永山中学校の第1試合はJ-ELMと北都が対戦。永山は木内の守備から川村がチャンスメーカーしますが決めきれず。北都も左サイドの妹尾から攻撃をしかけますが得点できずスコアレスドローに終わりました。愛宕と明星は, 明星が佐々木を中心に攻撃を組み立て, 13分坂本のスルーパスから矢口が先制点を奪います。その後も押し気味に試合を進めた明星ですが, 愛宕はGKの負傷退場による追加タイム6分間に, まず半田のFKに室井が合わせて同点に追いつくと, 滝ヶ平が右サイド菅野からのセンターリングに合わせて逆転ゴールをあげました。第3試合は上富良野は攻撃力を発揮。7分に林優の先制ゴールを皮切りに, 14分, 23分には遠藤が連続得点。その後も得点を加え, 7対1で六合を下しました。第4試合は啓北2ndが細川のハットトリックで留萌に3対0で勝ち, 初勝利をあげました。

名寄健康の森の第1試合では土別FCが13分草刈のヘディングシュートで先制します。さらに21分には佐藤のアシストから喜多亮がドリブルから2点目をあげます。東陽も弘田, 後口を中心に攻撃をしかけ, 25分に佐藤圭が1点を返しますが, その後土別FCは泉田寛と喜多亮が加点し東陽を下しました。東明は前半こそ太田の1点のみに終わりましたが, 後半爆発。

岩城のハットトリックなどで6対0で美深に大勝しました。名寄SCは佐藤の4得点, 渡邊の5得点の活躍で美瑛に大勝しました。

第10節 9月7日(土) 上富良野富原運動公園
B 愛宕 8-2 (5-2) 上富良野 室井 (5分, 16分, 17分, 36分, 43分), 石崎 (8分), 滝ヶ平 (23分, 44分) (愛) 林優 (11分), 遠藤 (24分) (上)
A 永山南 4-0 (2-0) 富良野西
塚本 (14分, 32分), 谷口 (16分), 大杉 (31分) (永)
A 富良野東 1-0 (0-0) 東陽藤井 (11分) (富)
B 光陽 10-2 (3-2) 中富良野 星 (5分), 坂本 (11分), 原田 (26分, 34分, 48分), 斉藤 (44分, 59分), 上家 (38分), 畠山 (37分, 52分) (光) 石山 (20分), 岩本 (28分) (中)

名寄健康の森
A 附属 4-2 (3-0) 土別FC 海谷 (13分), 浅野 (28分), 長瀬 (29分), 滝澤 (49分) (附) 由井 (53分), 大津 (54分) (土) [警] 長瀬 (附)
B 美深 8-7 (4-2) 六合瀬川 (3分, 46分, 55分), 武藤 (5分, 19分, 33分), 内山 (23分, 39分) (美) 濱嶋 (24分), 中村孔 (36, 59分, 59分), 山崎 (37分, 57分, 58分) (六)

花咲球技場
C 東神楽 3-0 (1-0) 忠和2nd 高橋 (13分), 菊地 (34分), 坂上 (53分) (東)
C 啓北2nd 5-0 (4-0) 北都
菊地 (2分), 平野友 (8分, 15分), 細川 (27分), 久保田 (45分) (啓)
B 東明 2-1 (2-0) 春光台 澤田 (3分, 29分) (東) 本間 (40分) (春)
A 神楽 5-1 (1-1) 東光 佐々木 (9分, 43分, 51分), 林輝 (52分), 谷口 (55分) (神) 土田 (4分) (東) [警] 佐藤 (東)

第10節は, 上富良野運動公園など3会場で10試合が行われました。富原運動公園での第1試合は愛宕が室井の5得点の活躍などで無敗の上富良野に8対2で大勝しました。富良野西と対戦した永山南は, 14分佐藤のクロスから塚本がヘッドで先制点をあげると, 16分には吉田翔心のパスから谷口が追加点。その後も大杉, 塚本と加点し, 4対0の勝利。暫定2位に出来ました。第3試合は前半は無得点でしたが, 41分富良野東藤井がペナルティエリア内で振り向きざまにシュートを決め1対0で勝利。2勝目をあげました。光陽は斉藤のハットトリックなどで大量10点を奪い, 中富良野に大勝。暫定2位に浮上しました。

名寄健康の森での第1試合は, 附属が序盤から得点を重ね, 49分までに海谷, 浅野などの得点で4点を奪います。土別FCも終盤由井らが得点しますが及ばず, 附属が4対1で勝ち, 3連勝を飾りました。美深と六合は記録的な点の取り合いとなりました。美深は瀬川と武藤, 六合は中村孔と山崎と4人がハットトリックを完成させる試合となりましたが, 美深が8対7で六合を振り切りました。

花咲球技場の第1試合では東神楽は忠和2ndを高橋のゴールなどで3対0で破り, 暫定ながら首位に出ました。啓北2ndは平野友の2得点などで北都に5対0で快勝。勝ち点7とし, 上位に浮上してきました。第3試合では東明が春光台と対戦。3分宿谷のクロスから澤田がヘッドで決め先制した東明は, 29分には山岡からのロングフィードを受けた澤田が抜け出し追加点をあげます。しかし, 40分鈴木シュートのこぼれ球を本間が詰めて春光台も1点差に追いつきます。試合はこのまま2対1で終了。東明が首位を守りました。神楽対東光は阿部のパスを受けた土田が4分に先制点をあげます。しかし, その後佐々木のハットトリックなどで神楽は東光に逆転勝ち。首位の座を保っています。